



2016年5月号
Vol. 128



あーちコミュニティ・カレッジ

日時 5月14日(土) 13:30~15:30

場所 こらぼあーち

元あーち相談員・東口たまき先生の講演会とグループでの
発達相談会を開催します。発達相談会への参加希望者は、
あーち受付まで事前予約をお願いします。

スタッフ紹介

はじめまして。釜田卓哉といいます。

この4月から半年間、火曜と土曜に勤務させて
ていただくことになりました。元々子どもと遊ぶのが好きなので
あちで過ごさせてもらえる時間はとても楽しみです。積極的に
皆さんに働きかけられるようになろう！と思っていますが、まだ
まだ男性が少ないところなので、子どもさんをびっくりさせるこ
とがあるかもしれません。それでも、できるだけ早くとけ込める
ように頑張りますので、よろしくお願いします！



今月は帰国しておりますが、帰国してさらに日本の商品は素敵だと思いました。アメリカの製品は、何でもがずっしりと重いのです。ナイフもフォークもスプーンもお鍋も重いです。

掃除機の重さには参っています。1 年経った今、掌を見ると、この掃除機のおかげで鉄棒遊びをしていたときのようなマメができています。日本では、「ほら、これだけ軽いんですよ。」というのが売り文句なのに、アメリカでは違うんですね。何でもが軽く、便利に作られている日本の製品とは大違いです。しかし、この重たい商品たちは、アメリカ人の好みだそうです。

私には、すべてのことが日本と反対にみえます。アメリカではスーパーの店員さんがリンゴやバナナを袋に入れるときも、「傷がついても気にしない。」という扱い方です。卵もケースの中をチェックしないで買うと、1つ2つ壊れていたりします。

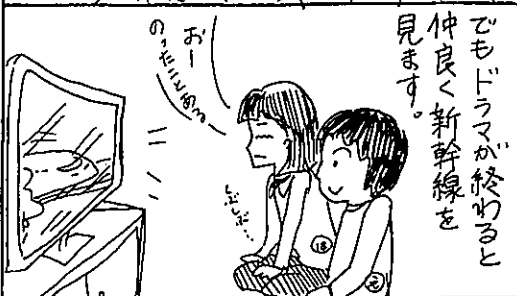
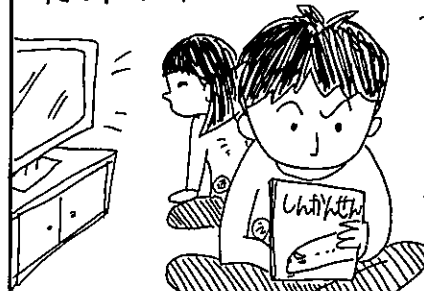
日本人のもつ繊細な心遣いや丁寧さを誇りに思うばかりです。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

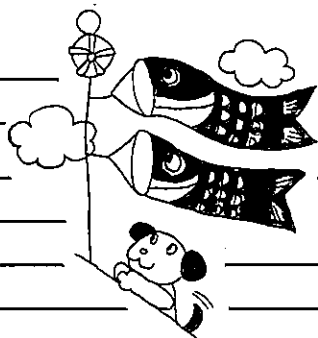
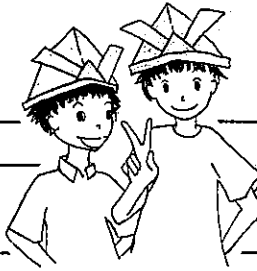
えんじえる君 by Bon

兄妹ゲンカ

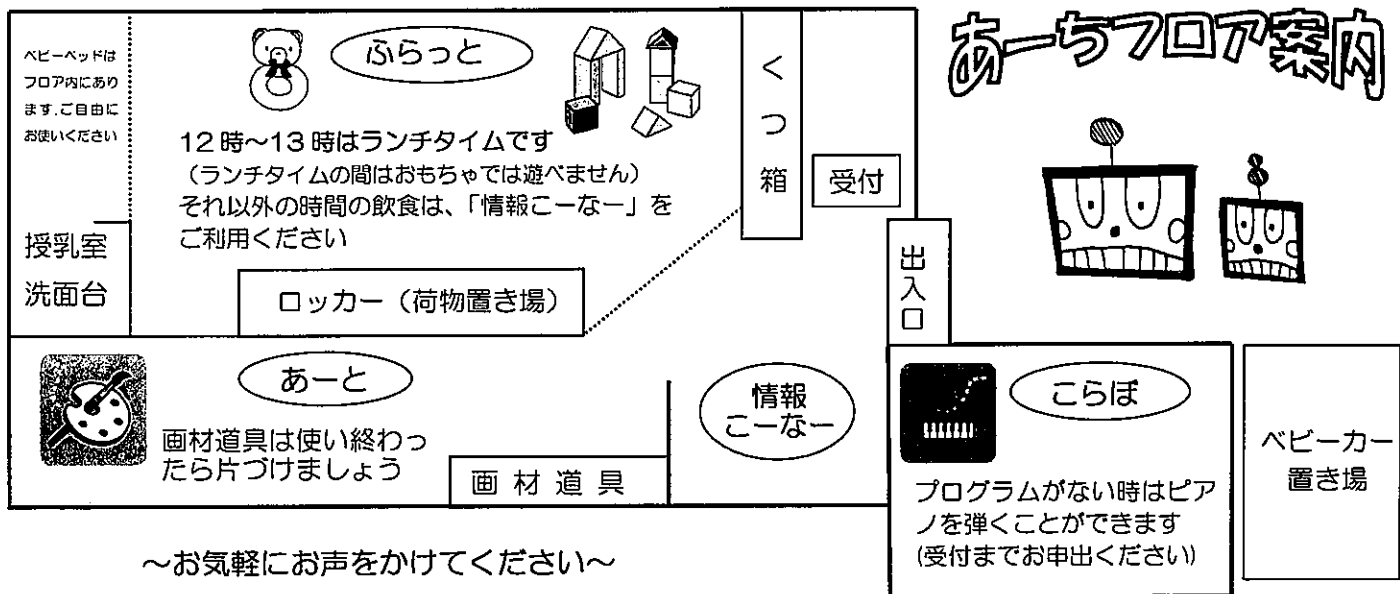
言葉のでない
えんじえるくんも
兄妹に力をします



5月予定表

		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	日	休 館		
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金	家族教室 10時40分～ 居場所づくり 3時～6時/気まぐれライブ 4時～5時	おりがみ遊び 4時～ めだか親子クラブ 4時～	
7	土			
8	日	休 館		
9	月			
10	火			
11	水	ほのぼの音ランド 11時40分～		
12	木	みんなで歌おう 午前中	筆をもとう 1時～2時30分	
13	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時		
14	土	0歳児のパパママセミナー＆中・高校生の赤ちゃんふれあい体験 ※通年プログラム・予約制（今年度の募集は終了しました） あーちコミュニティ・カレッジ（後半の部のみ 予約制） 1時30分～		人形劇1時30分～
15	日	休 館		
16	月			
17	火			おひさまひろばあーち 午前中
18	水	パパママほっと(予約制) 10時30分～12時 あーち通信編集会議 1時30分～ あーち連絡協議会 3時～		
19	木	ピーナッツ(予約制) 10時30分～		
20	金	居場所づくり 3時～6時/ふらっとライブ 1時30分～2時 アートセラピー 3時30分～5時		
21	土	ぼっとらっく(予約制)		
22	日	休 館		
23	月			
24	火			おひさまひろばあーち 午前中
25	水	気まぐれライブ 3時～4時		おしゃべりほっとタイム 11時～ ふらっとライブ 2時～2時30分
26	木	みんなで歌おう 午前中 あーち♥ビギナース交流会(予約制) (6か月未満のお子さん) 1時30分～3時	筆をもとう 1時～2時30分	
27	金	居場所づくり 3時～6時/らくがきおばさんがやってきた 3時30分～		
28	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
29	日	休 館		
30	月			
31	火			おひさまひろばあーち 午前中

- ・プログラム参加の年齢制限はありません。内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・5月の「ベビーマッサージ」は未定です。/・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・「ふらっと」は16時30分（金曜日は17時30分）より整理整頓の時間とさせていただきます。



<ふらっと相談員>

火曜	午前	保育士
	午後	灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜	午前	NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
	午後	灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
木曜	午前	助産師 (月2回)
	全日	助産師/保育士 (11:00～16:00)
土曜	午前	助産師 (第2土)

あーちのルール

- ☆オムツやゴミはお持ち帰りください
- ☆託児はできません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

絵本の世界へようこそ

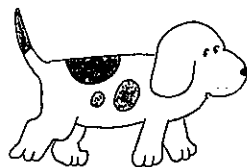
『はじめまして スミレひめよ』

ハーウィン・オラム ぶん
スーザン・バーレイ え
小川仁央 やく 評論社 1999年

この絵本は、ネズミのスミレひめのお話です。
なんでもかんでも、やっちゃだめと言われているスミレひめはうんざりしていました。そこで、ある日、こっそりお城を抜け出して街に飛び出し、一番行ってみたかったお菓子屋さんへ向かいます。しかし、そこで悪いネコに誘拐されてしまっ…?! スミレひめのおてんばぶりがかわいくて、思わず笑ってしまいます。誘拐されたスミレひめがどうやって逃げ出すかにも注目しながら読んでみてくださいね。

(発達科学部人間形成学科 4回生 川邊ハルカ)

『コロちゃんはどこ?』



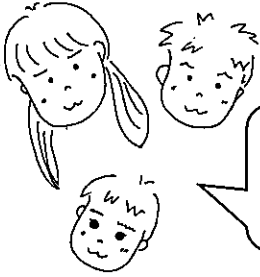
エリック ヒル・さく
まつかわ まゆみ・やく
評論社 2004年

ごはんの時間なのにコロちゃんがいません。
「ここかしら?」ママは捜しますがなかなか見つけれません。
「ここかしら?」とドアを開けてみると「あれ!?!」
あぁ! コロちゃんではない誰かさんが隠れていた!...
子どもと一緒に?——と開けて
「あれ!?!」「わあー!」
絵やことばも ゆっくり楽しんでみてください。

玖家

十四通目「我が家の『ぞう列車』」

みのり



長女さん：「まんなくんを引っ張って学校に行く」という仕事が増えました、小4
まんなくん：ランドセルを忘れて登校しそうになります、毎日…、小1
三番目：「僕も小学校行きたい！」が口癖になっています、3歳

少し前の話になりますが、あーちで開催された「いのちをつなぐ」イベントの、音楽劇「ぞう列車がやってきた」に参加しました。「子どもの歌声が大事な劇なの」と勧誘され、「子どもたちと合唱なんてなかなかない機会だし、ま、やってもいいか。」くらいの気持ちでメンバーに入りました。「長女さんと家でCDを聴きながら練習して、何回か集まって合わせたらいいのかな？」と軽く思っていました。まんなくんと三番目に関しては「曲が覚えられて、気が向けば参加できるかな〜？」といった程度。でも、その音楽劇は私が思っているよりずっと「本気」でした。

毎週金曜日は夕方から練習。指揮者の先生もピアニストの方もいらっしゃいます。「これは真剣に練習しなきゃだめだ…」すっかり腰が引けていた私に対して、長女さんは「頑張ろう」モード。本当はそんなに興味がなかったのに、私が「合唱楽しいよ。戦争のことも知ることができるとよ。」と強引に参加させたのですが、人前で発表することは苦手な長女さんですが、じわじわと合唱の喜びを知っていったみたいです。

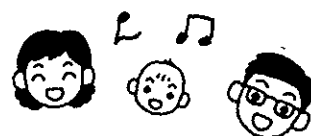
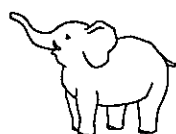
何回もCDを聴いて歌詞を覚えて、家でもよく歌いました。三番目はお気に入りの曲を、適当な歌詞で熱唱。象の名前「マカニー、エルド」というところは「マンゴー、リンゴー」。おかしくてかわかった…。まんなくんはあまり興味を示さず。三番目も曲を気に入っているわりには、練習に参加せず、私と長女さんが歌っている時には、「あーち居場所づくり」のボランティアさんに遊んでもらっていました。

本番が近づくと、急にまんなくんが「一緒に歌う」と言い出しました。なんでも大人が担当する曲中の「戦争中動物を処分しろ！」と迫る憲兵と動物園の園長さんのやり取りに興味を持った様子…。残酷な表現に心が騒ぐ、子どもの感受性の強さを認識せざるを得ませんでした。が、「象は生き残ったんだよね。」「戦争中は食べるものがなかったの？」という疑問に親が丁寧に答えていくことで、「一緒に参加できる」と思えるようになりました。しかし、歌詞が楽しいまんなくん。本番当日までかなり頑張りました。

三番目は途中ちょっと「参加できるかも」と思いましたが、集中が続かず、当日はパパの膝の上で鑑賞。「歌いたかった」と涙も見せましたが、劇の後半は寝てしまいました。

リハーサルを重ねる中で、「みんなで何かを作り上げる」感覚に、高揚感を感じました。本番、長女さんとまんなくんの歌声を聴きながら、「やってよかった」と心から思って、劇が終わった後、指揮者の先生に「よく頑張った」と子どもたちが頭をなでられている姿には、ぐっとくるものがありました。

家族で歌える「合唱組曲」に出会えたこと。それはかなり貴重なことなのかな、と思います。今日も誰かが「ぞう列車よ、急げ〜」と歌いだすと、みんなが声を合わせます。



草々